

無関心が生む 不正義と不誠実を乗り越えるために ～変化の中でのソーシャルワーク教育を考える～

現在のわが国は、2020年からのコロナ禍で顕在化した貧困や孤立、差別や排除、分断等のさまざまな社会問題を抱える状況にある。さらに、2022年2月に始まったウクライナに対するロシアの軍事的侵攻により、罪のない人々の家や学校、職場が破壊され、生活の場が奪われるという事態をもたらした。ソーシャルワークという、人とその生活へのまなざしを徹底して大切にする営みを知る私たちは、「そこにはかけがえのない一人ひとりの、かけがえのない一つひとつの生活がある（あった）」ことへの思いを馳せながら、関心を持ち続け、想像する力を発揮し、いま何が出来るのかを自らに問い続けなければならない。

そしてこのような、激動とも言える社会状況のなかで、社会福祉士・精神保健福祉士養成の新カリキュラムに基づくソーシャルワーク教育やソーシャルワーカー養成が始まった。ソーシャルワークの対象となる社会問題や生活問題とは、これらの状況に対して、ソーシャルワーカー自身が何をどのように見るか、あるいは見ようとするかという、関心と想像力、およびそのあり方のことであると言っても過言ではない。ある状態に対して、それが問題と見なされなければ、それは問題とはならないのである。それゆえに、「無関心」とそれがもたらす「不正義と不誠実」はソーシャルワークには許されず、それを「乗り越える」ためのソーシャルワーク教育でなければならない。

今回の全国社会福祉教育セミナーは、昨年度の議論の継承とさらなる展開を志向しつつ、あらためてソーシャルワーク教育に携わる私たちの「語り合い」や「学び合い」の機会としたい。それは、さまざまな変化の時代の中において、確かなソーシャルワーカー養成の実現とソーシャルワーク実践の発展のために、私たち教育・研究者の連帯と協働の場なのである。

Online 開催
11月12日(土)
13日(日)

ご要望にお応えし、
見逃し配信も
対応!!

第51回全国社会福祉教育セミナー 2022

第51回全国社会福祉教育セミナー2022

無関心が生む不正義と不誠実を乗り越えるために
～変化の中でのソーシャルワーク教育を考える～

プログラム (講演者・スケジュールは都合により変更になる場合があります)

Online 実施

1 日 目 11/12 (土)	アクセス開始	9:30 ~ 10:00	
	オープニング	10:00 ~ 10:15	会長：白澤政和 挨拶 / 諸連絡等
	基調講演	10:15 ~ 11:15	病気の子どもを育てる家族の現状と私たちにできること 講師：光原 ゆき氏 (NPO キープ・ママ・スマイリング 理事長)
	対談	11:20 ~ 12:20	講師：光原 ゆき氏 / 空閑 浩人 (同志社大学・ソ教連常務理事)
	<昼食休憩>	12:20 ~ 13:15	
10:00 ↓ 16:10	行政説明	13:15 ~ 13:55	社会福祉士及び精神保健福祉士等をめぐる政策動向について 説明：厚生労働省 (調整中)
	分科会 1	14:10 ~ 16:10	1：新カリキュラムのソーシャルワーク実習に向けた準備のポイント —課題を乗り越える方法を共に模索する— コーディネーター：高良 麻子先生 (法政大学・ソ教連理事・実習委員会 委員長) 話題提供者： 畑 亮輔 (北星学園大学・ソ教連 実習委員会) 菊地 悟氏 (社会福祉法人愛敬園 障がい福祉サービス事業所 北愛館) 三浦 真美氏 (社会福祉法人 愛敬園 障がい福祉サービス事業所 北愛館) 小山 泰明氏 (立川市社会福祉協議会)

17:00
↓
19:00


< 国際シンポジウム のお知らせ >

『**ソーシャルワークと戦争～避難民支援をめぐる実践・教育のグローバル連携**』

11月12日(土) 17時～19時・オンライン開催【申込〆切：11/8(火)正午】

1日目のプログラム終了後、無料でご参加いただけます。

別途申込が必要ですので、二次元コードかセミナー公式サイトをご確認ください。



2 日 目 11/13 (日)	アクセス開始	9:30 ~ 10:00		
	分科会 2 / 分科会 3	10:00 ~ 12:00	※同時開催です。どちらか1つを選んでご参加ください。 ※後日実施の見逃し配信では、双方のプログラムをご視聴いただけます。	
	2：【災害】ソーシャルワーク教育は災害支援をどう教えるのか	—できることから始めよう— コーディネーター：新井 利民 (立正大学) 話題提供者：村江 史年 (北九州市立大学)	3：【演習】カリキュラムのSW演習をどう展開するか	—授業の組み立てと教材作成から— コーディネーター：保正 友子 (日本福祉大学・ソ教連理事) 話題提供者：齊藤 晋治 (長崎国際大学) 山本 博之 (田園調布学園大学)
	10:00 ↓ 15:30	11/13 (日)	10:00 ↓ 15:30	<p>毎年災害が発生するたびに、普段我々が教えている社会福祉課題が一気に噴出し、支援を必要とする人々の姿が立ち現れる一方、より潜在化してしまうニーズや人々も発生する。被災地ではこれらの課題に対して、今、この時も、多様な主体のさまざまな専門職・ボランティア・地域住民が支援活動を行っています。</p> <p>ソーシャルワーク教育は、災害発生が日常と化した中で、役割を發揮することのできる人々を育成することを決意し、カリキュラムに災害支援を組み込みました。学生は何をどのように学ぶべきか？我々は何をどのように伝えるべきか？</p> <p>この分科会では、被災地支援に学生とともに携わった経験の紹介を踏まえ、これらの問いについてみなさんと共に考えます。</p>
	<昼食休憩>	12:00 ~ 13:00		
	分科会 4 / 分科会 5	13:00 ~ 15:00	※同時開催です。どちらか1つを選んでご参加ください。 ※後日実施の見逃し配信では、双方のプログラムをご視聴いただけます。	
	4：【ICT】ソーシャルワーク教育におけるICTの可能性	—平時における教育への効果的な活用を考える— コーディネーター：坂本 毅啓 (北九州市立大学) 話題提供者：中根 成寿 (京都府立大学) 富士フィルムシステムサービス株式会社	5：【合理的配慮】ソーシャルワーク教育における合理的配慮	—実習をめぐる現状と課題を共有する— コーディネーター：蔵野 ともみ (大妻女子大学・ソ教連会長補佐) 話題提供者：村田 淳氏 (京都大学学生総合支援機構 障害学生支援部門) 森山 拓也 (城西国際大学)
	クロージング	15:00 ~ 15:30		


参加申込方法 参加費：10,000 円 (学生特別料金：2,000 円)

ウェブ申込フォームよりお申込ください。
見逃し配信は、事前申込者限定です。
必ず、事前にお申込みください。

パソコンからは、こちら
スマートフォンからは、こちら

参加申込期限
10月31日(月)正午まで

<http://www.jaswe.jp/seminar>



後援 (予定)

厚生労働省 文部科学省 法務省
社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会福祉法人経営者協議会
公益社団法人日本社会福祉士会 公益社団法人日本精神保健福祉士協会
公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 公益社団法人日本介護福祉士会
公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 認定社会福祉士認証・認定機構
特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 全国福祉高等学校校長会
一般社団法人日本社会福祉学会 日本地域福祉学会
ソーシャルケアサービス研究協議会

主催・お問い合わせ

日本ソーシャルワーク教育学校連盟
JAPANESE ASSOCIATION FOR SOCIAL WORK EDUCATION


〒108-0075
東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 5 階
日本ソーシャルワーク教育学校連盟
Tel : 03-5495-7242 E-mail : jimukyoku@jaswe.jp

Point!!

■ 今年の分科会は、参加型!!
各分科会は、グループワークやディスカッションを盛り込んだプログラムです。
講演を聞いた後、参加者の皆さまで意見交換やディスカッションをして、より一層理解を深められます。奮ってご参加ください!

■ 全プログラムを見返せる、見逃し配信対応!!
事前に参加申込した方に限り、当日映像を再視聴できるようになりました!
見逃してしまった、もう一度聞きたいなどのご要望しっかり対応いたします。
※各分科会の各グループのディスカッション等、一部再配信されない部分もあります。
※見逃し配信はセミナー終了後です。視聴可能期間や視聴用 URL は、事前参加申込者に後日お知らせします。

各校の状況を知ったり、
皆さまの疑問やモヤモヤを
語りあえる機会にも!



本連盟では、2023年2月の社会福祉士・精神保健福祉士
国家試験受験生に向けても、さまざまな取り組みを行っています。
身近にいらっしゃればぜひお伝えください(*´▽`*)

Making Waves!
『What Is Social Work?』
公式サイトはこちら →

